

御礼

# ミストラルシクロクロス大会閉幕 & 今後のミストラルの活動について

## 29年に渡るミストラルのシクロクロス大会閉幕です

ミストラルのシクロクロス大会閉幕いたします。  
吉見総合運動公園にて広く親しまれてきた大会でしたが、今春の公園の指定管理会社の変更となり公園を使用してのシクロクロス大会開催が従来の条件と大きく様変わりいたしました。現状、当クラブとして開催が不可能となりました。

吉見総合運動公園とは14年間に渡り、共に公園の活性化やシクロクロスというマイナーなスポーツに対してご理解を得て開催できたことを感謝いたしております。指定管理制度という現実の中で、双方の思いが合致できなく大変残念ですが、シクロクロス大会の開催を断念することとなりました。  
また、今春からボランティアとして行なっておりました、吉見総合運動公園内のシクロクロス常設コースのパトロール活動も取りやめます。

吉見総合運動公園とは、大雪による公園利用が困難な時も、絶大なるご理解の中での大会開催。

台風による甚大な災害による公園再生にむけてのボランティア清掃活動。

菜の花祭りの公園イベントにコラボレーションしての参加活動。

シクロクロス教室の開催にむけての共同イベント立案。

シクロクロス常設コースの設営にむけての共同作業。

思い出が一杯の公園でした。

ミストラルのシクロクロスは、北海道時代は、「北海道スーパープレステージシクロクロスシリーズ」、後半は「GP-mistral」というシリーズ戦でシクロクロスの未開拓な北海道にて愛好者の方々と歩んできました。

札幌市豊平川河川敷の氷結コースで記念すべく第1戦開催、その後、夕張マウントレースイスキー場での開催。

ドイツから2名のスーパースター選手を招待し、シクロクロスミーティングから小坂正則選手を招待して大変意義深い大会を開催することができました。

その後、北長沼水郷公園での開催が札幌自転車競技連盟、北海道自転車競技連盟様のご後援もあり安定的に開催することができました。

北海道を離れ上京後、伝説の「荒川ゲリラシクロ」を皮切りに、吉見総合運動公園にて関東エリアのシクロクロスファンの方々の絶大なる応援、ご参加によりスケールも400名規模の大会を開催することができて感謝申し上げます。

その後、AJOCから脱退して独自の歩みをしていくミストラルですが、多くの方々にシクロクロスのイベントをエンジョイしてもらいたい目的から「Mistral Cycle Xross Games」を開催してまいりました。

その中で、子供の育成大会である「ミストラルカップ大会」の開催も思い出深いものでした。

しかしながら、独自の歩みをする反面、マネーパワーが弱点となり、直近では財政面で大変厳しい大会開催を続けてまいりました。  
マネーパワーは、今後の活動を進める上で、重要課題となっております。

ミストラルのシクロクロス大会29年の開催を振り返ると、確実にシクロクロス普及の役目は果たせたと思います。  
選手の世代も代わり、今ではミストラルのシクロクロス大会から羽ばたいて国内外で活躍しているトップレベルの選手もいます。

今後のミストラルのアクションは以下となります。

#### 1. **equipe mistral** のチーム運営

ミストラルの誕生に戻り、初期の目的であったシクロクロスチームの活性化を進めます。

シクロクロス日本代表のスタッフとして4度、世界をみてきた記憶を忘れず、日常的にスポーツ指導をしているコーチング能力を選手と共に発揮してシクロクロスチームである「equipe mistral」のチーム力を向上させます。

#### 2. **グラベルイベント**の開催

試験的に過去数年実施してきた「グラベルライド」を shape up させて面白いイベントを企画していきます。

最後になりますが、29年間に渡りミストラルのシクロクロス大会にご理解、ご支援、ご協力、ご参加、応援いただいたメーカー様、競技連盟様、大会開催にご理解を戴き、使用を認めていただいた各公園管理様、行政担当者様、そして個人の皆様方に重ね重ね感謝申し上げます。

2021年12月31日  
ミストラルシクロクロス大会スタッフ一同  
及び  
ミストラルスポーツクラブ  
代表 大山 智